NIE実践報告

1．タイトル：☆「新聞から社会に目を」を考えた授業の工夫(新聞活用学習会より)

2．学校名

熊本県阿蘇市立一の宮中学校

3．実践者名（代表者名）

佐藤　謙二

4．学年

第2学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間　94人

6．単元（本時の学習課題）名

新聞活用学習会

7．目標(狙い)

新聞の読み方のおもしろさを知り、新聞に親しみ、新聞の閲読習慣を目指す。

8．評価の視点

新聞から効果的に情報を得ていたか、またそれを元にまとめ方が工夫され、発表に結びついていたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

新聞活用学習会［総合的な学習の時間：2時間］調べ学習・まとめ・発表［6時間］※探求学習として

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

◎「新聞活用学習会」(2時間)講師:熊本日日新聞　越地　真一郎　様
(熊本県NIE推進協議会事務局長、熊日NIE推進室長)
○新聞社の方が記事のまとめ方や写真の扱い方などの工夫。
○新聞が発行されるまでの過程やその方法。
○講話をもとに調べ学習をし新聞形式でまとめる。(6時間)

(留意点)
・新聞を活用しての、調べ学習のいろいろなまとめ方を知り、今後に活かす。
・新聞から上手に活用し、的確な情報を得ていたか。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

新聞のおもしろさや楽しさがわかって、とても楽しかった。新聞をつくるのにはいろんな工夫がされているんだなあと思った。難しいイメージが多い新聞が自分でも読めるものとわかり、読んでみようと思った。

12．成果と課題

・生徒および職員が新聞の活用法を学び、「新聞から社会に目を」の意識を高めることができた。
・2009年度は年度途中から実践で、校内での体制づくりがしっかりできていなく、取り組みとしてはこれといった特筆すべき実践はできなかった。講話も年度末になったので、年度をまたいでの実践も含めて2009年度は綿密な計画の下実践していきたい。